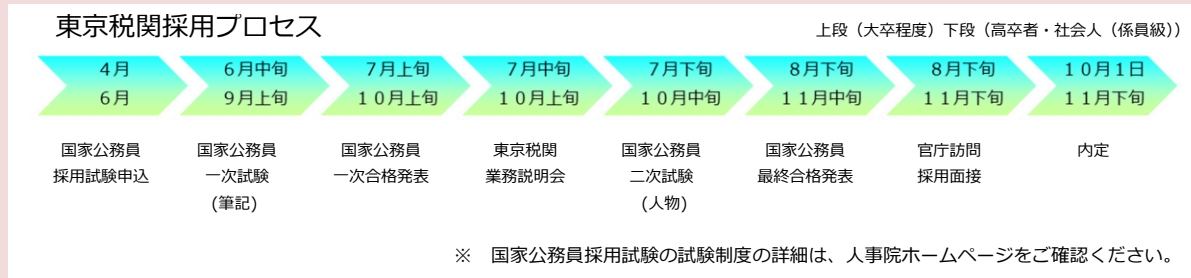


【採用 Q&A】

Q 東京税関職員になるためには、どうすればいいですか。

A 人事院主催の国家公務員採用試験一般職（大卒程度）又は国家公務員採用試験一般職（高卒者）、国家公務員採用試験一般職（社会人（係員級））に最終合格した後、東京税関で実施する採用面接を通過すると東京税関職員になることができます。



Q 最終合格後、東京税関から官庁訪問・採用面接に関する連絡がなくても、官庁訪問・採用面接に参加できますか。

A 国家公務員採用試験一般職試験に最終合格していれば官庁訪問・採用面接にご参加いただけます。応募方法は HP に掲載しますので、確認いただいてご自分からご応募ください。

Q 業務説明会に参加していなくても、官庁訪問・採用面接を受けられますか。

A 業務説明会の参加の有無は面接結果に影響を与えません。参加したことのない方でも官庁訪問・採用面接にご応募いただけます。

Q 採用されるために必要な資格はありますか。

A 採用時に必要な資格は特にありません。税関業務は外国貿易と密接な関係があることから、英語等外国語が必要とされる仕事がありますが、採用研修で必要最低限の語学力は習得できます。また、多岐にわたる業務についても各専門分野の知識が求められますが、採用研修、職場配属後の実務研修で身につけることができます。

Q

技術系区分から採用された職員はどのような仕事をするのですか。

基本的には、行政区分から採用された職員と同様に、税関業務全般に携わってまいります。税関には、輸入品や違法薬物の化学的な成分分析を行う部署や、農産品・機械・化学品等の輸出入の審査を担当する部署等があり、大学等で学んできた専門知識を発揮できる機会も多くありますので、専門知識を活かせる業務に携わる可能性は高くなります。

A

Q

当直勤務はありますか。

職員数全約 2,900 人のうち約 800 人が港、空港等で当直勤務を行っています。十分な設備が整っており、仮眠時間・休憩時間も確保された中で勤務しています。

A

Q

仕事内容や勤務地に関する希望は出せますか。

年に 1 度、希望を申し出る機会があります。上司との面談できめ細やかな身上把握が行なわれます。また、希望に変更があった場合も随時申し出ることができます。

A

Q

海外勤務はありますか。

世界各国の日本大使館・領事館での勤務や、税関の専門家として海外税関での研修や指導員育成等の技術支援を行う勤務、WCO（世界税関機構）へ派遣されている税関職員もいます。

A

Q

東京税関の特徴は何ですか。

東京税関の特徴は、大消費地に直結した東京港、日本海側有数の港である新潟港のほかに、利用者数・物流量ともに全国一の成田空港と、発着枠が拡大し今後も利用者数の増加が見込まれる羽田空港を管轄しており、空港周辺での勤務が多くなります。また、各専門分野の全国統一的な解釈・適用を担当する「センター機構」が設置されていることです。システム、品目分類、原産地、関税評価、知的財産、AEO、犯則調査等の分野において全国の中心的な役割を担っています。

A